

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(2月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	2月10日	不検出 (12)	不検出 (21)	93	93
	固化灰	2月10日	不検出 (14)	82	280	362
	溶融スラグ	2月10日	不検出 (10)	不検出 (11)	不検出 (13)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	2月10日	不検出 (9.1)	不検出 (14)	19	19
	飛灰	2月10日	不検出 (18)	28	110	138
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	2月10日	不検出 (9.6)	不検出 (15)	不検出 (13)	不検出
	飛灰	2月10日	不検出 (17)	22	99	121
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	2月20日	不検出 (8.0)	不検出 (14)	18	18
	固化灰	2月20日	不検出 (13)	21	67	88
岩槻環境 センター	焼却灰	-	-	-	-	-
	固化灰	-	-	-	-	-

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰:燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰:ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰:飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ:焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

※クリーンセンター大崎第二工場の採取日は、新クリーンセンター試験稼働により焼却炉の運転調整を行っている期間がありましたので、他のセンターと異なります。

※岩槻環境センターは平成27年1月に運転を停止し、灰の発生がありませんでしたので放射能濃度測定は行っておりません。

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(2月分)】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 Csl(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位: $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	2月10日	1m	0.05	0.05	0.04	0.05	0.04
東部環境 センター	2月10日	1m	0.07	0.06	0.05	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	2月10日	1m	0.06	0.06	0.07	0.08	0.06
岩槻環境 センター	2月10日	1m	0.05	0.07	0.06	0.06	0.05

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界